

# 2025年12月 (株)三越伊勢丹ホールディングス 国内百貨店事業 売上速報



2026年1月5日

■2021年4月から収益認識基準の適用がスタートいたしましたが、売上速報・売上確報で開示する国内百貨店事業の売上につきましては従来の総売上高で開示いたします。

## 国内百貨店事業 売上

(株)三越伊勢丹 店舗	前年比	4月－12月累計
伊勢丹新宿本店 店頭	103.1%	99.1%
三越日本橋本店 店頭	105.8%	103.7%
三越銀座店	97.0%	98.3%
伊勢丹立川店	98.9%	98.4%
伊勢丹浦和店	93.7%	96.8%



	前年比	4月－12月累計
(株)三越伊勢丹 計 ①	101.9%	99.8%

グループ百貨店事業会社	前年比	4月－12月累計
札幌丸井三越	95.0%	95.9%
函館丸井今井	91.5%	91.8%
仙台三越	93.0%	95.6%
新潟三越伊勢丹	98.5%	100.3%
静岡伊勢丹	86.7%	95.5%
名古屋三越	92.2%	94.8%
広島三越	85.2%	87.6%
高松三越	91.7%	95.7%
松山三越	85.3%	88.1%
岩田屋三越	98.0%	97.9%

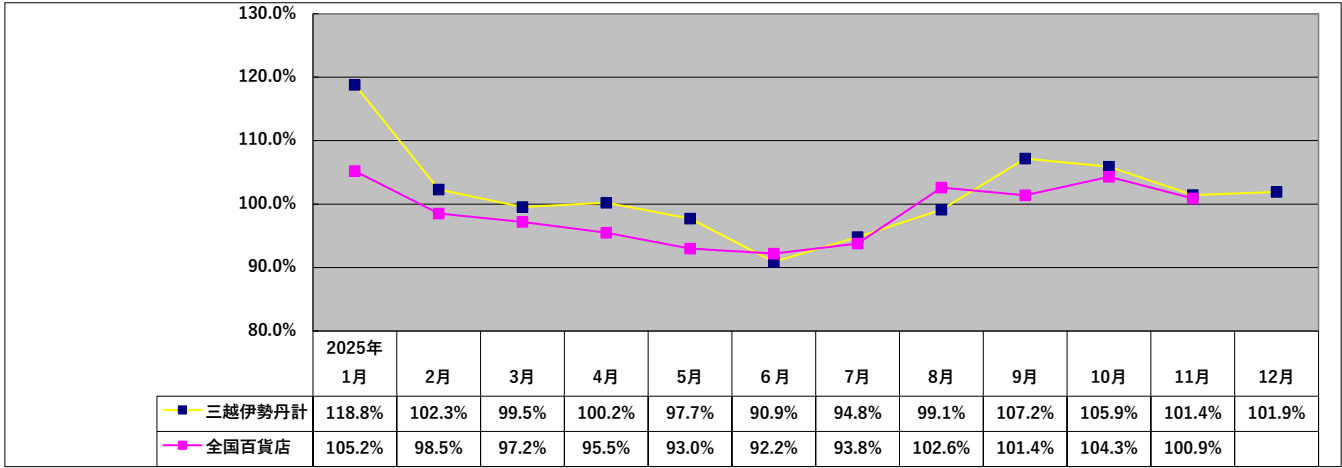


	前年比	4月－12月累計
国内グループ百貨店 計 ②	94.8%	96.4%

	前年比	4月－12月累計
国内百貨店 計 (①+②)	99.5%	98.6%

## 過去1年間の月別売上高（前年比）推移 [三越伊勢丹・全国百貨店（日本百貨店協会発表）]

※数字は速報値です。三越伊勢丹計は既存店計の実績です。



## 概況

○売上高前年比は、新宿・日本橋の両本店がけん引した(株)三越伊勢丹は101.9%と引き続き堅調に推移し、4か月連続で前年を上回った。全国百貨店計は99.5%であった。

○シーズン需要もあり、宝飾・時計や装身具が好調に推移した。また基幹三店では、ラグジュアリーブランドを中心にコートやセーターなど冬物衣料品やスキンケア・フレグランスも国内顧客に支持されている。加えて新宿本店では、月の後半から展開している次シーズンの春物アイテムへの関心も見られる。

○国内顧客は引き続き当社とつながりの深い識別顧客がけん引。特にMI Wメンバー※や三越伊勢丹・カスタマープログラムの上位顧客売上が好調だった。海外顧客においても、海外外商を中心に“当社と繋がった顧客”の売上が伸長しており、海外顧客向けアプリも含めたCRM戦略の効果・必然性が高まっている。

※MI Wメンバー（エムアイダブルメンバー）：エムアイカードと三越伊勢丹アプリの両方を連携させた会員

## お問い合わせ先

【三越伊勢丹ホールディングス 広報担当】TEL：050-1704-0684  
 【同 IR担当】TEL：080-7577-7640/090-8593-0298/080-7577-7727/080-2082-2777  
 【個人株主の方はこちら】0120-230-051 木曜・日曜・大晦日・元日を除く10時～18時